

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス サンフラワー府中			
○保護者評価実施期間	令和 6年 1月 6日		～	令和 6年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	令和 6年 1月 6日		～	令和 6年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動やプログラムが固定化されないよう、様々な療育やイベントを提供している。	1ヶ月の活動表を作成し、毎回異なるよう工夫し、飽きの来ない活動を目指している。外活動、制作活動、食育、イベント等幅広く行うようにし、児童の学び、成長に繋がるように取り組んでいる。	個の児童の課題に合わせた支援プログラムにも、積極的に取り組んでいき、集団・個別の両方からより良い支援を提供していきたい。
2	活動前後に、課題に対しスタッフで常に意見交換・情報共有を行い、より良いサービスを目指して取り組んでいる。	日頃からコミュニケーションを密にとり、支援に対してのズレが起きないように心掛けている。	支援や業務の質を保てるように、職員一人一人が向上心を持ち、研修会や勉強会に参加しスキルアップ・キャリアアップ出来るように取り組む。
3	学生等(医療・福祉関連の仕事希望)の学びの場の提供。受け入れを積極的に行っている。	新しい視点、発想力の吸収	日頃から職員間で話し合いの場を設け、誰でも発言出来るよう、風通しの良い職場環境を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の交流の場を提案できていない。 家族等が参加できる研修会の確保がなされていない。	デイサービスでの保護者同士の連携等を必要としていない 声も多く、どのような会を開くのが良いのか、難しい。	研修会等を設け、そこから徐々に交流の場へと移行出来ていくと良いのかもしれない。参加率を増やす為の時期や時間等の検討。
2	屋外(教室までの外階段等)の安全性の強化	賃貸物件の為、大幅な改修工事がすぐに改善・対応が困難なため課題が残る。	現状、大幅な工事は難しいが、滑り止めマットや手すりの補強等、今後出来る限りの工夫をに対応していく。
3	研修会への参加の充実	シフトの問題から全員参加で学ぶ環境を作るのが難しい。	マンツーマンや個への支援の観点から、支援スタッフ増員、確保

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス サンフラワー府中

公表日 令和 7年 3月 10日

利用児童数 34名

回収数 29名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	0	スタッフ紹介の紙等があると助かる。	今後、検討致します。
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	13	0	0	外階段が急なので心配ですが、室内は適切だと思う。	今後も安全性の強化に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	2	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	0	0	0	子どものリクエストや発達の目的をもって、様々な活動を取り入れている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	13	7	1	必要に感じていない。 不明	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	7	15	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	1	0	0	学校や家庭の問題も一緒に考えて下さり、助かっています。 子どもの発達状況や課題について、よくわからない所がある。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	7	1	0	今困っている事等にアドバイスを頂けるとありがたいなと思う。	スピーディーな助言、回答を目指してまいります。学校等での困り事に関しては、多少お時間を頂きたいと思っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	11	17	1	必要に感じない。 特に希望していない。 デイサービスでの保護者の交流は、あまり必要に感じていません。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	5	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	デイサービスに行くことを心待ちにしている様子が伺えます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	0	0	いつも楽しいイベントがあり、通所を楽しみにしています。 楽しみにしていて、いつもニコニコで帰ってきます。 誕生日色紙が毎年楽しみです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	0	0	活動内容を工夫していて、写真を通して子どもの様子も伝わり満足しています。 お話を聞いて頂いたり、急な変更の対応もして頂き、助かっています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス サンフラワー府中		公表日		令和 7年 3月 10日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	0	基準人員を満たす、シフトを組んでいます。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		2	4	外階段の下段部分（下段3段）に手すりがない為、スタッフが必ず付き安全強化に努めている。室内はバリアフリー。	賃貸物件の為、大規模な改修工事が不可能だが、滑り止めマット等を敷き、雨等の滑り防止を行なう。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	直接児童が使用する場所に、わかりやすい標示を行っている。消毒、換気、清掃等、徹底して行なっている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0	落ち着かなかったり、崩れてしまう児童に、仕切りを設置し個室としてクールダウンできるスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6	0	ミーティングで、当日の職員の動きや、児童の留意すべき事項を把握し、取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	保護者にアンケートを取り、保護者の意向を確認し改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	日頃から職員間で話し合いの場を設け、誰でも発言出来るよう、風通しの良い職場を目指している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0	6	日頃から職員間で話し合いの場を設け、誰でも発言出来るよう、風通しの良い職場を目指している。	第三者による外部評価を受けていません。今後実施の検討をしていく必要があると考えている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5	1	資格取得のために職員希望をとって、受講させてもらっている。研修情報を職員に周知するようにしている。	シフトの兼ね合いから十分に研修の受講が出来ていないことがある。利用者への支援に関する内部研修を密に行う。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	0	HPで公表、全員が確認できる状態である。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6	0	日頃の保護者との対話で得た情報も責任者へ報告、共有し個別支援計画作成に職員全員で関わるようにしている。	報酬改定により大きく変更となった支援計画書について、不安点も多く模索しながらの部分がある。詳しくわかる研修等があると良い。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	0	話し合いを実施し、支援の方向性にズレが生じないように、意見を出し合っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	0	活動プログラムを共有し、5領域に沿った支援計画と照らし合わせて行うことで、より明確な支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6	0	アプリ等を用いて、共有を行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	0	項目に沿った内容で支援を設定している。	報酬改定により、さらに明確化された支援目標になったことで、より具体的な専門的支援の質の向上の必要性を感じる。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	0	活動担当を職員全員が行ない、様々な観点から療育を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	季節にあったものなどに配慮し、イベント等固定化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	成長に差がみられる場合は、別々にグループを組み、円滑に活動できるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	ミーティングを行い、活動の流れや業務分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	ミーティングを行い、活動の振り返り、児童の様子を共有し、議事録に記入している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	議事録で常に振り返りが出来、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	決められた期間ごとに行い、必要があれば見直し、作成を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	児童の特性に合わせて行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自由活動の時間を設け、自己決定した活動をサポートしている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	会議に参加しない職員からも意見を募り、参加後は全員に情報共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	協力医療機関と提携しています。サービス担当者会議や関係機関との会議に参加し連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	送迎時や必要時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6		就学前については、ご家庭との情報共有を行うことはあっても、関係機関との情報共有はない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6		対象になる児童が居ません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	必要に応じて、連携をとり助言を貰っている。	研修の機会までは設けられていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	地域の公園や外活動で、地域の方たちと交流する機会を作っています。	児童クラブや児童館との交流が出来るが良い。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		今後、積極的に参加して行きたいと思いません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に、子どもの様子を伝え合い聴取した内容は、職員間で共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		家族等の参加できる研修の機会を持っていません。今後の課題としています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時、丁寧に説明を行っています。保護者からの質問があれば、都度対応している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントを細やかに聞き取り、計画を作成し、モニタリングや常に相談できる環境作りをしている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	支援内容の説明を行い、同意を得ています。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	スピーディーな助言、回答を心掛けています。即答できない場合は、職員で話し合いの場を設けたり、相談・面談の場を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		保護者会の開催希望のニーズが低く、必要に応じて実施を考えています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談があった場合は、聞き取り、共有、整理、改善点を話し合い、迅速に対応策をお伝えし、再発防止に努めるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月行事予定を配布している。サービス提供記録に活動の様子が分かりやすいようにお伝えするように心掛けています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取扱いには、十分留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	他児との関わりを報告する際は、個人の特定につながらないように配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		現状、行っていません。積極的に地域の方たちとの交流を図っていけたらと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	職員に周知すると共に、発生を想定した訓練も行っている。	各マニュアルについては策定はしているものの、保護者への周知、理解に繋がっていない可能性が考えられるため、再度周知の徹底を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	児童、職員共に定期的に、避難訓練を行っている。災害訓練施設や防災について学ぶ機会を作っている。	保護者に対して、災害伝言ダイヤル[171]を使用した訓練を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認している。常に最新の情報確認を行い、職員に周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時、または分かった時点で情報更新、職員への周知をしている。職員が常に確認できる場所に掲示している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	職員全体で、必要な訓練等を行ない、安全管理がされた環境での支援に努めている。	安全計画について、保護者への周知、説明が不十分と考えられるため、再度周知の徹底を行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	保護者用のマニュアルの配布をしている。	安全計画について、保護者への周知、説明が不十分と考えられるため、再度周知の徹底を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットをミーティングで共有すると共に、報告書に残し振り返りを定期的に行う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修を行っている。常日頃、虐待や身体拘束について意識し、職員同士声掛けをしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	個別計画に記載。日々の振り返りで、対応の在り方について共有、他の方法がないかなど常に模索し、話し合いの場を設けている。		